

令和7年10月24日（金）

あさひの日だまり

NO.22

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～明日は音楽会です～

保護者の皆様、地域の皆様ご来校をお待ちしています

明日は音楽会です。今日は午前の時間を使って順番にリハーサルがありました。私は今まで子どもたちの歌や演奏を聞いていませんでした。今日初めて通して聞かせてもらいました。子どもたちはステージで歌い演奏し、先生方は子どもたちと一緒にリズムを取りながら音楽をリードしています。先生と子どもたちと一緒に音楽を作ってきてくれたということが見ていてよくわかりました。

低学年の子どもたちの演奏は本当に楽し気で見ている私もリズムに合わせて体を動かしてしまいました。学年を追うに従い歌にも合奏にも厚みが出てきます。思わず聴き入ってしまう音楽に変化してきます。その年齢の子どもなりの精いっぱいステージでした。

ステージにいる子どもたちと先生から感じるの「楽しさ」「緊張」「誇り」「信頼」そういうものでした。体を動かして歌詞やリズムを思いっきり楽しんでいる様子がありました。真剣に楽器に向き合い没頭している緊張感がありました。ここまで本気で練習に打ち込み「皆さん私たちを見て下さい！」という誇りを感じました。一人ではとても表現できない姿を仲間がいるから安心して楽しむ姿がありました。ここまでどんな大変な道のりがあったのでしょうか。想像することもできないほどの頑張りがあったに違いありません。

私の隣でリハーサルを見ていた一人の先生が、目頭を押さえながらこちらへ振り返りました。「〇〇さんがステージでしっかり立って演奏しているんです。すごいですね！」とおっしゃりました。昨年度まではなかなかステージに立って皆と一緒に演奏ができなかったお子さんのことを言っているのがすぐにわかりました。その子の成長の姿に感動して涙しておられるのです。私は「今私の目の前の先生は中におられて自分は外にいるんだな」と実感しました。

私は後ろの保護者席に座って子どもたちの奏でる音楽に感動していました。「子どもたちってすごいな」と思って聴き入っていました。それは一人の観客の姿でした。でも、実際にステージに立っている子どもたちは先生方の指揮にあわせて、必死に自分の役割を努め、精一杯心を込めて口をあけて歌を歌い、仲間とリズムを一生懸命に合わせ、指揮する担任の思いを感じ取り、まさに一つになって音楽を作り出しているのです。しかも演奏しているその瞬間だけではなく、それまでの練習の中で起きたであろう色々なストーリーをすべて心の中に包み込んで音楽を創り上げているのです。もしかしたら休み時間や授業中の場面を思いだしながら歌っている子どもや先生方もいることでしょう。まさに一つの輪の中にいる姿です。担任の先生と子どもたちが本当に羨ましく思われました。

最後は6年生のリハーサルでした。12歳の少年少女のその立ち姿には「風格」が感じられました。やはり学校をリードしてきたという事実がそこにはあるんですね。

明日のステージが楽しみです。保護者の皆様のご来校を心からお待ち申し上げます。



1年生

音楽劇：かえるの世界旅行

斉唱 あおい空に絵をかこう

合奏 かえるのがっしょう

斉唱 小さな世界



2年生

音楽劇：少年少女探検隊

斉唱 少年少女探検隊

リズム遊び いるかはざんぶらこ

合奏 南の島のハメハメハ大王



3年生

二部合唱 いつも何度でも

リコーダー奏 いつでもだれかが



4年生

合奏 シング・シング・シング

二部合唱 ふるさとは今も変わらず



5年生

二部合唱 おそすぎないうちに

合奏 銀河鉄道999



6年生

合奏 くるみ割り人形

二部合唱 群青